

小規模飲食店の経営者の皆様へ

C-Kan プロジェクト本部 あすぶろ実行委員会

コロナ禍の中、お客様が自分と家族の命と健康を守り、安心して外食を楽しめるようにするためのご提案です。

はじめに)

コロナ対応として、3密回避・マスク・手洗いは生活習慣として定着させるため、協力されてきたことと存じます。

しかし、それだけでは不足でした。

もう一つの望まれる重要な要素が換気の徹底です。

しかし、いかに換気を徹底していても、そのことがきちんと伝わらないと安心してもらえません。

安心いただかなければ、来店してもらえません。

換気の徹底の事実を伝えるには、現在の室内の CO2 濃度が安全基準の 1000PPM 以下であることを、目に見える形で確認できるようにすることが必要です。

店内の CO2 濃度の生データが安全基準の 1000PPM 以下であることを確認できれば、安心いただけるのではないのでしょうか。

1000PPM というのは厳しい数字です。寝室のドアを閉めて寝ると、起床時には 1000PPM を超えます。

狭い車内で空調を内部循環にしていると数分で 1000PPM を超えてしまいます。

小規模飲食店といっても、ビル管理法対象の 3000 m<sup>3</sup>以上の大規模商業施設内では十分な換気が行われており、入口が開放である限り、実際には換気に心配はありません。換気に心配はないものの、CO2 濃度測定器を置くことで、お客様の安心は得られます。

また路面店の場合、入口が開放であれば換気の手配はありませんが、夏の冷房、冬の暖房で入口を閉め切っている場合、換気が不十分になるおそれがあります。店内の奥の方に CO2 濃度測定器を設置し、それを来店者が簡単に見られるようにすることが求められます。

CO2 濃度測定器の数値が 1000PPM になりそうであれば、窓や入口のドアをその都度開けて換気を行うことで、お客様に安心してご利用いただくことができます。

その他の広めの飲食店の場合については別に述べます。

店内ポスター、テーブル上の POP によって、CO2 濃度測定器の数値が 1000PPM 以下であることを確かめてもらうよう、おススメするだけでなく、QR コードをクリックして、換気の徹底と CO2 濃度についての基本知識を C-Kan サイトで学んでいただきましょう。(https://site.c-kan.jp) 参照

こうした姿勢がお店への信頼感を高め、来店者の増加にも寄与することが期待できます。

C-Kan プロジェクトは店内ポスター 3 枚、POP20 セットを 5,000 円で提供しています。

C-Kan プロジェクト HP の [お問合せフォーム](#) からご相談いただければ、対応しますので、お気軽にご相談ください。